

図書館だより

2017
No.183



ふじさわ

- 総合市民図書館は開館30周年を迎えました！・・・・・・・・・・P1
- 総合市民図書館開館30周年記念事業・・・・・・・・・・P2～3
- 郷土の文化人 その17 宮田 昇・・・・・・・・・・P4

皆さまに愛されて30年

総合市民図書館は開館30周年を迎えました！



総合市民図書館30年間の主なできごと

1986年（昭和61年）	総合市民図書館開館
1988年（昭和63年）	日本図書館協会建築賞受賞
1999年（平成11年）	インターネットでの蔵書検索開始
2002年（平成14年）	障がい者・高齢者宅配サービス事業全市域にて開始
2007年（平成19年）	総合市民図書館の休館日を第2・第4水曜日として、月曜日開館開始
2008年（平成20年）	第1回図書館まつり開催
2014年（平成26年）	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供開始
2015年（平成27年）	雑誌スポンサー制度開始
2016年（平成28年）	「べにばら文庫」設置



開館記念日10月25日の
一日図書館長は、藤沢市公式マスコット
キャラクター「ふじキュン♡」



ふじキュン♡は
子どもたちにも大人気！

「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」とは・・・

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を全国の公共図書館で利用できるサービスです。

「べにばら文庫」とは・・・

市民の方からのご寄付により、子どもたちに長い間親しまれ、読み継がれてきた本を集めたコーナーです。

【市民図書館】 総合市民図書館（Tel43-1111） 南市民図書館（Tel27-1044） 辻堂市民図書館（Tel35-0028）
湘南大庭市民図書館（Tel86-1666）

【市民図書室】 長後（Tel43-7655） 明治（Tel35-7095） 辻堂（Tel35-7076） 村岡（Tel28-6939）
片瀬（Tel28-6935） 遠藤（Tel88-6235） 六会（Tel83-4686） 善行（Tel83-4687）
藤沢（Tel28-6895） 鵜沼（Tel35-7096） 御所見（Tel48-4675）

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



（携帯版）

総合市民図書館開館30周年記念事業

記念事業として講演会、ワークショップ、展示を行いました。



講演会

小説修行60年と自作朗読

10月23日(日)
講師 佐江 衆一氏(小説家)

市内在住の佐江さんから藤沢での生活や文学について、和やかな雰囲気の中、お話ししていただきました。辻堂の茶店(ちゃみせ)が登場する自作「一会の雪」の情感こもった朗読に、会場全体がその小説の世界に包まれたようでした。



ワークショップ

フレッシュハーブでクリスマスリースを作ろう

12月3日(土)
講師 齋藤 智子氏

摘み立てのハーブを使ったリース作りと、作業後のハーブティーで一息…。心地よい香りに包まれて、気分もリフレッシュし、楽しく作ることができました。思い思いのリースができあがり、みな笑顔になりました。



講演会

ビブリア古書堂の事件手帖・三上延 藤沢・自作・思い出を語る

12月18日(日)
講師 三上 延氏(小説家)

自身も藤沢で過ごされたという三上さん。昔から文学少年ということで、当日は、貴重な愛読書を持参して、たくさんのエピソードをお話しいただきました。また、インタビュー形式の講演で、デビューまでの道のりや、作品執筆の裏話など多くの質問にお答えいただきました。

展示

かこさとしさんからのあくりもの

10月13日(木)～12月27日(火)

藤沢市在住の絵本作家かこさとし氏より
開館30周年のお祝いに絵を描いていただきました!!

おなじみのキャラクター「からすのパンやさん」や「だるまちゃん」が描かれた原画とともに関連資料を展示。かこさんの世界を紹介しました。



展示

フレイバック写真展

10月13日(木)～12月27日(火)

くつろぎコーナーでは、開館当時のなつかしい写真などを展示しました。



かこさとしさんの世界

子ども図書館でも、かこさとしさんの絵本などの展示を行いました。



館長コラム



総合市民図書館は、昭和61年10月に開館して、昨年は30周年を迎えました。これもひとえに、皆さまのご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。当時は、なんと斬新な建物ができただけなのか、と思ったことをよく覚えています。

総合市民図書館の最寄駅である小田急線湘南台駅は、昭和41年11月に開業しました。それから9年ほど経った昭和50年頃に、湘南台駅の東口に降り立ったことがあります。当時は、現在もあるスーパーが建っている程度で、駅周辺はまだ閑散としていました。一体どのような“まち”になるのかと思っていましたが、今や相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄が乗り入れ、小田急線の急行が停車するほどの駅となりました。そして、多くの人々が住み、行き交う“まち”となりました。

総合市民図書館も今年は31年目となり、建物は風格を増してきましたが、これからも新たなことに挑戦していきたいと思います。図書館末体験の方にも、ぜひ足を運んでいただくために、何ができるのか、その可能性にも挑戦していきます。これからも、皆さまに親しんでいただけるような図書館をめざして、努力し続けてまいります。

総合市民図書館長 織部 朋子

郷土の文化人 その17

みやた のぼる 宮田 昇

プロフィール

1928年東京生まれ。早川書房編集部、チャールズ・E・タトル商会著作権部を経て、日本ユニ・エージェンシー創設。編集者、翻訳権エージェントとして長く出版界で活躍。『朱筆－出版月誌1968-1978』で第1回出版学会賞佳作、『翻訳権の戦後史』で第21回日本出版学会賞。1980年より市内鵜沼在住。

本に関わる豊かな人生

本に関わる仕事を長きにわたってされた宮田昇さんにお話をうかがいました。宮田さんは藤沢にお住まいになって36年。現役時代は、仕事を終えて都心から藤沢に戻ると空気が変わると感じられていたそうです。藤沢で過ごす時間が多くなった今、以前には味わえなかった藤沢のよさがわかり、やっと藤沢市民になれたと思われたそうです。お近くの図書館、図書室も利用されており、著書『図書館に通う』の中でも、「わが町の図書館では…」と、藤沢市図書館、図書室のことに触れられています。

ご幼少の頃より本が好きで、戦前は、当時東京九段にあった私立図書館へ、市電に乗って通った思い出をお持ちの宮田さん。戦後は、編集者、翻訳権エージェント、出版評論家、そして作家として、本に関わる日々を送られました。早川書房では、ハヤカワポケットミステリの創刊に関わられたとのこと。戦後、海外のミステリーが広く読まれるようになりましたが、まさにその礎ともいえるお仕事をされていたのです。その後、翻訳権エージェントとして、海外の作品を日本で翻訳出版する際の仲介業務にあたられました。翻訳権エージェントは、すぐれた海外作品の普及だけでなく、人と人とを結びつける仕事でもあり、この間に、多くの編集者、翻訳家、作家の方と知り合うことになりました。2007年に出版された『新編戦後翻訳風雲録』は、戦後の海外作品の翻訳史が語られるとともに、著名な翻訳家の方々の生の姿が描かれ、宮田さんにとって、渾身の一冊となっています。出版評論

家としては、みすず書房刊「月刊みすず」に22年にわたり「朱筆」という出版に関わるコラムを連載されました(筆名 出版太郎)。

また、ご自身が子ども時代から本に親しんでこられたように、子どもたちに、本の楽しさ、おもしろさを伝えたいというお気持ちで、子どもたちに向けた著作、翻訳も行っていました(筆名 内田庶(うちだかし))。

宮田さんは、子どもの頃から好奇心が旺盛だったとおっしゃいます。人とのつながりを大切にされてきたことに加え、旺盛な好奇心を持ち続けられたことが、本に関わる豊かな人生につながったのではないのでしょうか。好奇心は今も健在。日々、散歩の後には、著作活動をされることが多いそうです。数年前までは、遠方に取材に出かけられることも度々でした。今は、インターネットを使って、新しい情報を得たり、過去のご記憶を確かめたりして著作にあたられているそうです。現在、創元社(大阪)のウェブサイト「巷説昭和の翻訳出版」を連載中。また、今後、出版人としての宮田さんの個人史、そして戦後の出版史をたどる企画も予定されているそうです。

所蔵作品

- | | | |
|-------------------------|-------|--------|
| 『朱筆－出版月誌』 | みすず書房 | 1979 |
| 『朱筆Ⅱ－出版月誌』 | みすず書房 | 1990 |
| 『翻訳権の戦後史』 | みすず書房 | 1999 |
| 『新編戦後翻訳風雲録』 | みすず書房 | 2007 |
| 『敗戦三十三回忌－予科練の過去を歩く』 | みすず書房 | 2011 |
| 『図書館に通う－当世「公立無料貸本屋」事情－』 | みすず書房 | 2013 |
| 『小尾俊人の戦後－みすず書房出発の頃』 | みすず書房 | 2016 等 |
- 児童書、児童向け翻訳書も多数所蔵

編集後記

さわやかな日差しが心地よい季節になりました。お散歩がてら、図書館や図書室に立ち寄って、穏やかな時間を過ごされてはいかがでしょうか。
みなさまのご来館をお待ちしております。

発行 藤沢市総合市民図書館
藤沢市湘南台 7-18-2
TEL 0466-43-1111